

兵庫県社保協 FAXニュース

2020年12月17日

兵庫県社会保障推進協議会
〒650-0047 神戸市中央区港島南町5-3-7
兵庫県民連内
電話 078(303)7351/FAX 078(303)7353
Eメール: syahokyou@hyogo-min.com

- *第64回兵庫県母親大会 1月11日(月・祝) 事前申込要
西宮市民会館、10時～分科会、13時20分～全体会
記念講演「記者の目からみた政治とマスメディア」
望月衣塑子(東京新聞社会部記者)
- *中央社保協全国代表者会議 2月3日(水) Web 会議
13時30分～16時、日本医療労働会館会議室
- *兵庫年金裁判大阪高裁第2回口頭弁論 2月8日(月)

コロナ感染対応遅れ、いまま進む病床削減 根幹の「兵庫県地域医療構想」の撤回を要望

兵庫県健康福祉部健康局医務課と懇談



新型コロナウイルス感染拡大の第三波により医療体制がひっ迫している中、病床削減を進める「地域医療構想」は着々と進められています。

兵庫県社会保障推進協議会は14日、兵庫県知事宛に「兵庫県地域医療構想」撤回を求めて申入れを行いました。県社保協加盟団体と県下各地の「地域医療を守る会」、日本共産党県議団も同席しました。

「現在の『兵庫県地域医療構想』を撤回し、地域の声を踏まえ、県内すべての医療機関の存続と充実および、医療従事者の確保をすすめ、感染症対策にも対応できる医療体制をととのえること」とする要望書と「済生会兵庫県病院の存続と充実を求める会」が追加となる請願書名9,552筆を手渡しました。

対応した県医務課の元佐課長は、地域医療構想は国で「コロナ対策も踏まえ整理されるのを待つ」との考えを示し、県内での状況から県独自の判断をする意思がないことが明らかになりました。

国の地域医療構想ワーキンググループは9日に、「コロナ感染は短期的な医療需要であり、地域医療構想の病床必要量や考え方は変えず、着実に進める」との趣旨の「考え方」を示しています。

地域医療構想により、全国で9000床あった(1998年)感染病床は削減され、2000床以下(2018年)となっています。保健所や医師数が削減された根幹に

も地域医療構想があります。(計画では県下の急性期を13,500床削減、公立・公的病院22病院再編)

交渉では、県知事が記者会見で、感染症患者が入院する病床が確保できず、民間ホテル等を代用する宿泊療養施設を300室追加する事態を明らかにした一方、県下の病床削減をすすめられている矛盾を追及。感染症対策がもともと入っていない地域医療構想の不十分さを指摘し、「コロナ拡大で病床が不足しており、新たな感染症に対する公立・公的病院にゆとりが必要だ」と迫りました。

また、医療圏ごとの「調整会議」の内容が公開されていないことには、元佐課長は、開催されているにもかかわらず報告がだされていないことを認め、12月中の公開を約束しました。

地域医療を守る会からは、済生会病院が、統廃合について住民説明会も開かず、地域住民との面談を拒否している状況。三田市民病院が統廃合を前提に、給食部門を廃止する準備を進めている実態を報告。改善と県からの対応を求めました。

元佐課長は、地域医療構想の影響で起こっているこれらの不具合を掌握しておらず、対応する意思も示しませんでした。

三田市民病院ではコロナ感染者を受け入れたことにより5億円の赤字があり、病院職員の給与を10年間3%削減する状況になっています。医療機関への財政的支援が足りない実態や、PCR検査が増えている問題などの、県が対処すべき施策の実施が訴えられました。(事務局長 堤匠)

